



第一印刷株式会社
代表取締役会長
西原 透氏

バリイさんで地域に貢献

第一印刷株式会社 代表取締役会長 西原透氏 対談



「バリイさんはここから生まれた」

青野 今回は地域経済界のリーダーとして、第一印刷株式会社の西原会長にお話を伺いたいと思います。第一印刷さんといえばあの「バリイさん」を生んだ会社として全国的にも注目を集めています。創業は何年だったのでしょうか？

西原 昭和24年に父が今治で創業しました。父は兄と私の二人の息子に仲良く会社を継がせたかったようで、松山に営業所を開設しその後暖簾分けした松山の第一印刷で兄が社長に、今治の第一印刷で私が社長という形で事業継承されました。

たのは社長になって10年ほど経ってからでしょうか。
青野 西原会長は愛媛県印刷工業組合の理事長として、業界を引っ張っておられますが、近年の印刷業界の変遷はいかがだったでしょうか？

西原 私が会社に入った頃は活字を組み合わせて印刷する活版印刷が最盛期でしたが、今から20年くらい前からデジタル化の波が押し寄せオフセット印刷に変わりました。その頃から社内に企画デザイン部門を設けコンテンツビジネスにも領域を広げワンストップサービス体制を整えております。
青野 あのバリイさんはその企画デザ

イン部で生まれたんですね。
西原 バリイさんは2009年、今治地方観光協会ホームページのキャラクターに選ばれたことで初めて登場することになります。かわいいキャラクターができたので、グッズでも作りたいなと思っていました。広島県の東急ハンズさんがしなみ海道沿線の土産フェアをするとの情報が入り、これはいける！と思って勢い良くグッズを自費で制作して提案したのですが、見事却下されてしまいました(笑)。

これはしまった、この在庫を何とか売っていかねばならないことで、知り合いの方を通じて色々なお店に置かせていただいたのですが、それが徐々に口コミで売れるようになって、テレビや新聞で取り上げられて、ゆるキャラグランプリで二位になり、一位になり、あれよあれよという間にここまで来たと言う感じです。
青野 今こそ押しも押されぬ全国のバリイさんですが、無名の頃にはそんな失敗



「強みを生かした商品戦略で競争のないところで勝負」

西原 弊社では昨年の春、新たに東京営業所を開設しましたが、東京での営業では「バリイさんを生んだ会社」として新規訪問などの時の信頼度が違います。実は以前に一度東京進出して失敗した苦い経験もあるのですが、その時は「何でもできます」と言っていたのにうまくいかなかった。お客様に「何でもできます」は「何にもできない」と一緒だよと言われて……。でも今は、バリイさんに加えて弊社が力を入れて



作って優秀な人材も育てていかなければなりません。
青野 息子さん三代目として社長に就任されましたが、
西原 ちょうど私が社長に就任した時と同じ年代で長男にバトンを渡しました。長男は仕事が好きで、会社のこと本当に真剣に考えています。若い社長ですから過酷な事もあると思いますが楽しんで仕事に取り組んでいるのが頼もしいですね。彼の細かいことまで気を配れる緻密さも私が持ち合わせていなかったところ(笑)。

青野 まずは躍進を遂げる貴社の将来が楽しみです。バリイさんは今後どうなっていくんですか？
西原 バリイさんは元々観光大使という立場で今治・愛媛に貢献してきました。今、全国で多くのイベントに招かれてお邪魔させていただいておりますが、その時に来場者の方に配れる「バリイさんの観光ガイド」を制作中です。これは女性や子供たちでも楽しんでもらえるようなものにします。観光協会や今治市が作るのではなくバリイさんが自主的に作って配布するものです。そういった地道な活動も続けながら、今以上にバリイさんの全国での知名度を上げ、もっともっと多くの方に今治に、そして愛媛に来て

青野 今、色々なところからバリイさんを使ったグッズ開発のオファーをいただいておりますが、絶対曲げないのは「バリイさんは今治の観光大使」という信念です。例えば、お菓子のキャラクターとして引き合いが来たとしても、今治や愛媛を絡めた商品でない限りOKを出しません。普通のポテトチップスではなく「鉄板焼き鳥味」のポテトチップスならOKという感じです。
青野 バリイさんが地域に貢献した効果は非常に大きかったと思いますが、会社としてのメリットはありますか？

西原 弊社はセールスプロモーション事業として販促に使うペーパークラフトに力を入れています。東京の展示会でも紹介しており、商品のレベルの高さもあって新規顧客が拡大しています。この超精密ペーパークラフトは印刷業界の中では私どもがトップレベルではないかと自負しています。値段の競争ではなく、自社にしか出来ない強みを生かした営業戦略です。大きな敵と戦うのではなく、競争のないところで勝負するというのが鉄則です。

青野 様々な変遷を遂げていく印刷業界ですが、これからの貴社のスタンスはどうなっていくのでしょうか？
西原 これからの印刷はただ価格競争のなかで印刷をしていくのではなく、コンテンツメーカー、デバイスプロデューサーにならなければならぬと思っています。顧客の良き相談相手、ここに頼めばあらゆるニーズを解決してくれる、いわゆるソリューションプロバイダーというものです。そのため

呼んでいましたが、これからはこのバ



今治冠婚葬祭互助会
青野 淳一



超精密ペーパークラフト

は会社

呼んで



談もあつたんですね。バリイさんがここまで人気になって色々なメリットもあつたと思いますが……
西原 まず一番のメリットは地域に貢献出来た事ですね。全国から多くのバリイさん

リイさんにストーリーを持たせたいとも考えています。もっと深みを増して、日本国中に、そして海外にもバリイさんの名前が行き渡り、更に地域に貢献出来たらと思っています。
青野 バリイさんと共に貴社も益々発展され、地域に更なる元気を注入していただければ嬉しいですね。本日は誠にありがとうございました。
西原 こちらこそありがとうございました。

場所：第一印刷 印刷部

氏名	西原 透 (にしはら とおる)
生年月日	昭和24年 4月 22日生まれ
出身地	愛媛県今治市 出身
学歴	昭和43年 愛媛県立今治西高等学校 卒業 昭和48年 岡山大学法文学部経済学科 卒業
その他役職	第一印刷株式会社 入社 昭和56年 同代表取締役社長 就任 平成25年 同代表取締役会長 就任 愛媛県印刷工業組合 理事長 今治市教育委員会 委員長 「誠実」
信条	